



これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下にゴシック体でデザインしたシンプルで馴染みやすいロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語文字 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

# 翔生

平成 26 年 8 月号



発行：日本商工会議所青年部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2  
日本商工会議所中小企業振興部内  
TEL 03-3283-7848 <http://yeg.jp/>

編集：広報委員会

- 委員長 梶尾 朱美 田窪 孝和 押川 通広 湖底 政樹
- 梶山 義信 赤尾 泰輔 瀬川 文孝 相川 幸子
- 副委員長 藤一 近藤 隆行 細川 和宏 寺田 好孝
- 鎌田 貴好 山口 悠巳 吉備万里子 曾根 和孝

日本商工会議所青年部  
平成 26 年度  
スローガン

## YEG INNOVATION!!

～ “躍動” Yakudou, “縁結” Enketsu, “我地力” Gachijikara ～

### 三者対談 これからのYEGのあるべき姿について

#### あるべき姿は立場によって全く違う

●仲田会長 ●今の連合会の形は変わらないで欲しい。ただその中で出来る事の一つは、それをグループ化したいという事。メンバーが 200～300人の単会と10人以下の単会では出来る事、出来ない事がそもそも違っている。

どういう形かと言うと、人数の多い、規模の大きな単会是全国を見れる力を既に備えており、日本YEGが今行っているような事を単会でも出来る。

中規模の単会は今から頑張ろう、伸びて行こうとする所であり、まずは発信を行い、大きな単会と協力をしていく。連合会個々を強くしていく図式を作り上げる。

そして、規模の小さい単会。そこには応援をしていく。協力してもらい笑いながら一緒に作っていく事と、もう一つ重要なのは自分達の力で頑張れるようなサポートをする事。環境の整備などの面でお手伝いをさせて頂く。

連合会なので、各々が強くなっていけるような組織作りを心掛けたい。それはやはり自分だけでは出来ない単会には応援していきなさいいけないし、自分達で出来ている単会には、逆に出来ない単会の応援を「一緒にやろう」という事。隣にいても知らないことのあるから、全国を回りながら収集したデータを全て作りこみ、単会に落とし込むものやこれからの日本YEGに残すものとの方向性を決めたい。理想としては個々が強くなる環境づくりを相互にやっていきたい。景気を飛ばせるような団体にしたい。

●富永大会会長 ●20年度から日本YEGを見てきた中で、年度を重ねる毎にそのイメージが少しずつ出来てきた。そして24年度に一つ自分の胸に落ちたのが、よく出てくる責任世代という言葉とその責任世代からの発信。

我々にしか出来ない、しなければいけない事という面考えた時に、二つの立場の中でやはり言いづらいことはある。「おそらく現実や本物というのは違っているところにある。でも立場上言えない。」という事は大人になればなるほどあると思います。その中でもやはり責任世代という立場で言わなければいけない事や、我々だからこそ言える事もある。それをきちっと言える団体というのが一つの目指す所だと思ふ。

●岡村大会会長 ●人間の考え方は人それぞれであり、一致させる必要はないと思う。責任世代の責任とは何かという時にも、人それぞれ意見が違っていくと思う。それを、「どちらかに意見を…」と持って行くような団体にYEGが向かう恐れがある。こうしなきゃだめだから、こうあるべきだから。ただ、その中でも皆に共通している事があると思う。責任世代というならば、目の前に置かれた共通の問題をYEGの連合会として進めて行くべきではないだろうか？

少子高齢化はどこ地域でも同じであり、その打開が今一番の皆に共通する重要な課題だと思う。我々経済団体が示すべきは、次世代である子供達の事をもっと考える事であり、それが我々の責任ではないか。その為にビジネスをして、自らが強くなり、経済を動かせるようになる事が必要。人数が多いほどマッチングする機会も多くあるはず。メンバー同士でのビジネスマッチングを進める事が経済を波及させる契機になると思う。さらには、ビジネスをやっているという事をもっと皆が口々に話すようになっていかなければならない。

●仲田会長 ●次世代という事では、何代目までがあなたの責任なのか？果たして100年後200年後、日本人であることが幸せなのか？って事を考えると、やっぱり海外にも今から少しは目を向けて、そこでも生活が出来る準備を自分の次の世代のためにやっていく。ビジネスに関しては言えば、海外交流を向こうから引っ張って来たいと思っていて、それを全国でやる委員会を作りたい。ビジネスをメインに発信していく。

●富永大会会長 ●おそらく今、会社でもどこでもいわゆる「ゆとり世代」がテーマになっている。YEGにおいても次世代、つまりリーダーとしてYEGを牽引していくのがその世代になる中で、その方々に新発田へ来てもらい自衛隊で研修をしようかと話をしたことがあった。その自衛隊の様に、全国でもやはり地元を愛する人はいっぱいある。そういう物といたに連携し、繋がり、掘り起こして地元をうまくまわしていく。

全国会長研修会のあり方については、考える事、仕向けていく事を大事にしたほうがいいのではないかと思う。開催地



によって人の集まりが変わる。会長研修会に出席義務のある各会長さんの参加がなければ、「こちらから行きます」と伝える。主観的に捉えず、客観的に見る。分科会等に自ら参加・体験しておかないと参加する方々に理解して頂けない。全ては自分自身の問題であり、他人に促され、押されてやるべきではない。

#### 連動制のある継続性のある組織

●岡村大会会長 ●その為には、皆が入りたいと思うような会にするのが一番。この会が憧れられるように持ってく事が大事。宴会して遊んでいるだけと思われてはいけない。影響力のない団体は魅力がない。自分達が良くなるならば、人のことを良くする事は出来ない。YEG自体が良い団体でなければ、地域で何か良い事をしようとしても出来ない。

そして、日本YEGのこれからあるべき姿は繋がっていく事。伝えるべき事は、絶対に同じ事を伝えていかねばいけません。違う人間だからやり方は違っているでも、方向性と想いは同じでなければなりません。その一つは、YEG皆に共通する、お互い一緒にビジネスしよう、交流を持とう、繋がろうという事。

●仲田会長 ●繋がる意味というのは、そこに影響力が広がっていくという事。それぞれの組織のネットワークから影響力が増すと、人が魅力を感じる。魅力を感じると、人が集まってくる。会を大きくしたいというのは皆が思っていることだし、そのためには魅力的にならないといけない。知り合いを増やし、その繋がりや深くしていきたい。

●富永大会会長 ●地域や生まれ育った背景によって、会のスタンスは色々ある。特にYEGは寛大な部分が売って伸びてきた部分もあると思う。今の時代になり、それだけでは周囲から許されないところも出てくる中で、会員がどういう方向に行きたいかという想いによって方向が変わってくる。YEGをどう愛していくかだと思ふ。

●仲田会長 ●頑張ることを諦めないでやれば、必ず地位と肩書がついてくる。そのときに大事ななのは、肩書は人を超えちゃダメだということ。「知ったかぶりをするよりも、自分はこれ知らないと言える人間の方が凄いだ」という事と同じで、肩書は肩書であり、その前に人としてどうかという事を考えられる、考えようとする自分を持つ。そういう人間の集団であるべきではないか。

日本YEGホームページに情報満載。 <http://yeg.jp/>

## 40+ 会員活性委員会 会単会訪問の道

西部地区		中部地区		関東地区		北陸地区		東海地区		近畿地区		中国地区		四国地区		合計	単会名	訪問日										
単会名	訪問日	単会名	訪問日	単会名	訪問日	単会名	訪問日	単会名	訪問日	単会名	訪問日	単会名	訪問日	単会名	訪問日	単会数												
4 沖尾 康弘	3/3	10 鹿見 誠二	3/3	8 宮崎 隆	3/3	10 大分 隆	3/3	6 熊本 隆	3/3	8 長崎 隆	3/3	7 佐賀 隆	12 福岡 隆	5 高知 隆	9 愛媛 隆	6 香川 隆	6 徳島 隆	6 高松 隆	6 愛媛 隆	1 松山 隆	5	小松 隆	5	山崎 隆	5	下松 隆	5	5
沖尾 康弘	3/3	鹿見 誠二	3/3	宮崎 隆	3/3	大分 隆	3/3	熊本 隆	3/3	長崎 隆	3/3	佐賀 隆	福岡 隆	高知 隆	愛媛 隆	香川 隆	徳島 隆	高松 隆	愛媛 隆	松山 隆	5	小松 隆	5	山崎 隆	5	下松 隆	5	5





# 日本の懐(こころ) 京都大会

平成27年 **2月19日木・20日金・21日土**

今日(京)が始まり! 伝統と進取果敢の都から YEG SPIRITS OF INNOVATION!!

## 大会会長挨拶

現在、全国に408単会・約3万人のメンバーがいます。その中で全国大会に参加するメンバーの数は約5000人でありメンバーの約2割を切っています。その理由は3つあると私は思っています。

1つ目は開催地で参加するかどうかを決めていること。全国大会の内容ではなく開催場所に行きたいか行きたくないかで参加を決めている傾向があると思います。開催場所の魅力ではなくYEGが開催する全国大会の内容を魅力あるものに変えていかなければならない。

2つ目は全国大会の内容が全メンバーにちゃんと伝わっていないこと。一人一人のメンバーに全国大会は何をしているか、どんな事業をしているかを伝えることが大切。

3つ目は個々に参加がしにくいこと。単会や県連で参加する傾向が染みついており日本YEG出向者以外は自分一人で参加しにくいプログラム・システムになっていると思う。

京都の全国大会は家族・交流・ビジネスを柱とした事業をやりませう。

家族での参加を呼びかけ家族で参加できる事業をやりませう。またどのプログラムでも家族の参加を可能にしました。一人でも参加できるような交流事業を考え、全国に一人でも多くの仲間を作れるような設え。YEGの会員同士がビジネスの繋がりをもてるように、自分の仕事をメンバーに伝えられるような設え。YEGメンバーは繋がっているんだと思える、感動や思いやりのある大会を作っていきます。



岡村 寅嗣

京都大会から始まり次の大会へまたその次の大会に繋げて行きます。

## 大会スケジュール

平成27年2月19日(木)	平成27年2月20日(金)	平成27年2月21日(土)
日本YEG諸会議 9:00~18:00	登録受付 11:00~18:00	登録受付 8:00~18:00
前泊者懇親会 19:00~21:00	日本YEG諸会議 8:00~11:00	日本YEGセレモニー 8:30~9:15
舞鶴商工会議所(舞鶴市)	第1分科会(宮津) 9:30~11:00	記念式典 9:15~11:00
舞鶴商工観光センター(舞鶴市)	第2分科会(福知山) 10:00~11:30	記念講演 11:00~12:00
	第3分科会(綾部) 10:30~11:30	ビジネス事業 13:00~17:30
	第4分科会(亀岡) 11:00~12:15	交流事業(第1) 13:00~17:30
	第5分科会(宇治・城陽) 12:30~13:00	交流事業(第2) 13:00~17:30
	第6分科会A(京都) 9:00~19:30	家族事業(第1) 9:00~17:30
	第6分科会B(京都) 10:00~19:30	家族事業(第2) 12:30~17:30
	第7分科会(京都) 13:10~17:30	物産展 11:00~17:00
	OB分科会(OBサロン) 13:00~17:00	物産展 11:00~17:00
	物産展 11:00~17:00	大懇親会 18:00~20:00
	大懇親会 18:00~20:00	記念事業 19:20~20:30
	記念事業 19:20~20:30	解団式 10:00~11:00
	解団式 10:00~11:00	日本YEG諸会議 11:00~12:00
	日本YEG諸会議 11:00~12:00	

## ビジネスパワーアップ委員会

『日本全国YEGメンバーにはビジネスチャンスが平等に与えられているのです』  
 今まさにYEGに求められているものは何なのでしょう。人、物、情報がこれほどあふれている世の中で最も足りないもの。それは人とのふれあい、本気の付き合い、人間関係の在り方ではないでしょうか。我々ビジネスパワーアップ委員会ではそのふれあいの第一歩であります異業種交流会、同業種交流会を全国9ブロックで開催致します。ビジネスの発展を願わない経営者はいないと思います。この機会をビジネスチャンスと捉え全国のYEGメンバー、OBの皆様にも是非参加いただきたいと考えております。  
 又、もう一つの柱として『YEGモール』の発展と『YEGモール』を通して全国29,000名のメンバー間で人、物、金が流通するいわゆる「YEG内需拡大」を実現させていきます。我々ビジネスパワーアップ委員会は常にビジネスに直結、会員活性化を目指した活動を行ってまいります。



日本YEGホームページに情報満載。

詳しくはWebで 日本YEG

<http://yeg.jp/>

## 会単会訪問の道

単会名	訪問日
北海道	4/15
東北	4/16
関東	4/30
中部	4/30
北陸	4/30
関西	4/30
中国	4/30
四国	4/30
九州	4/30
沖縄	4/30
日本YEG総会	5/15

